

北神けいろうの国政報告：9月号

○いつも大変お世話になっております。

構造改革によって 17万8千円の負担増!!

○小泉政権もようやく今月で幕を閉じます。私は、以前から、小泉総理の言う「構造改革」の正体は、簡単に言えば、「国の借金を減らすために、国民負担を増やしているだけだ」と訴えてまいりました。これはここ数ヶ月間、皆様も実感されているのではないのでしょうか。

○住民税や介護保険料などの負担がいつの間にか急激に増え、特に年金生活者から悲鳴があがっています。しかし、これは決してお年寄りだけの問題ではありません。実際、小泉政権の下、私たちの負担増は何と8.8兆円にも及んでいます。これは、一世帯当たりで見ると、17.8万円も負担が増えたこととなります。

財政赤字の責任は誰がとるのか？

○財政赤字を減らさなければならないのは、誰だってそう思います。しかし、そもそもこの借金を誰が作ってきたのでしょうか。国民に増税をお願いする前にやらなければいけないことがあります。それは、こうした事態を招いてきた政権与党と官僚が責任をとることです。議員年金も実質的には存続しています。議員の数も減っていません。役人の天下りも平然と続いています。

国政報告会開催案内 (西京区版)

詳細に関しましては、ホームページもしくは、北神事務所へお電話(075-315-3487)にてお問い合わせ、ご確認ください。

○私は単なる財政論の話をしているのではありません。政治の責任の問題、道義の問題を申し上げているのです。私の知っている中小零細企業の社長は、会社の業績が悪くなれば、まずは自らボーナスを減らし、自己改革をされています。こうした指導者の責任のとり方は、日本人の伝統的な倫理観に沿うものです。これがなくて、いきなり増税を強要することは、到底誰も納得はしないのではないのでしょうか。

2大政党制によって政界に緊張感を!!

○小沢一郎代表の下で、私たち民主党は政治や役所の結果責任をあきらかにします。そして、政治に道義を復活させます。小泉劇場の熱狂によって、構造的な政治の無責任が一時的に誤魔化されました。それは長続きするはずがありません。たしかに、政治家や官僚の自己改革は歴史的にもっとも困難な作業です。だからこそ、政権交代可能な2大政党制を根付かせることによって、政界にも健全な緊張感を生じさせることが強く求められるのです。



9月9日(土)19:00～	嵐山東学区	上山田集会所
9月16日(土)19:00～	新林学区	新林会館
9月22日(金)19:00～	川岡東	川岡東自治会館
10月1日(日)19:00～	檜原学区	電車公園の電車内